

# 細菌数測定・生死判別用試薬CyStainシリーズ 研究用 CyStain BacCount Total/Viable

- ◆フローサイトメトリーと組み合わせ、細菌数を迅速に計数
- ◆2種類の蛍光色素を使用することで生菌と死菌を判別可能
- ◆多様な細菌に適用可能



CyStain Greenは、細胞膜の状態に関わらず全ての細菌(生菌・死菌)のDNAを染色します。  
一方、CyStain Redは、細胞膜が損傷した細菌(死菌)のDNAのみを染色します。

## CyStain BacCount 製品情報

### 総細菌数測定用試薬

#### CyStain BacCount Total kit :

- 5 × 40 µl CyStain Green
- 29 ml CyStain Dilution Buffer

### 生細菌数測定用試薬(細菌の生死判別)

#### CyStain BacCount Viable kit :

- 5 × 40 µl CyStain Green
- 5 × 400 µl CyStain Red
- 29 ml CyStain Dilution Buffer



品番	製品名	包装単位	製品説明	希望小売価格(円)
CX507401	05-5008 CyStain BacCount Total	200 tests	総細菌数測定用試薬	70,000
CC618160	05-5028 CyStain BacCount Viable	200 tests	生細菌数測定用試薬(細菌の生死判別)	90,000

※希望小売価格は消費税別です。

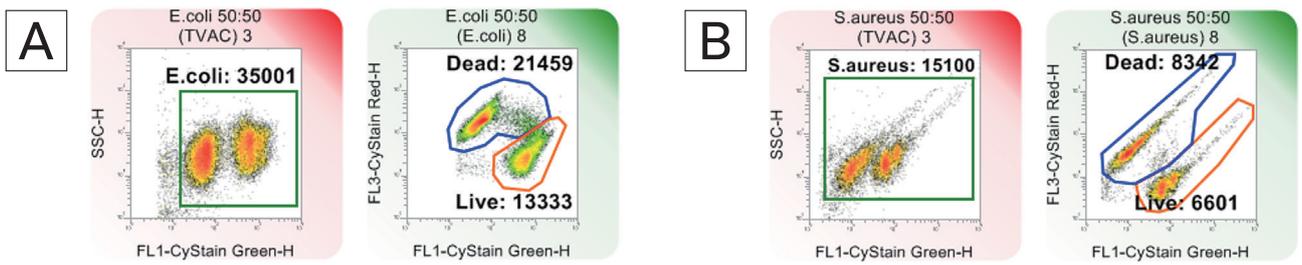


図1. CyFlow Cube 6を用いた細菌の生/死菌数測定(CyStain BacCount Viable)

未処理と70%イソプロパノールで30分間処理した細菌を混合した細菌懸濁液をCyStain BacCount Viableで染色し、CyFlow Cube 6で測定しました。グラム陰性菌(大腸菌)、グラム陽性菌(黄色ブドウ球菌)ともに、生菌と死菌を明確に分離することができました。

- (A) 大腸菌(グラム陰性菌、*Escherichia coli*)
- (B) 黄色ブドウ球菌(グラム陽性菌、*Staphylococcus aureus*)

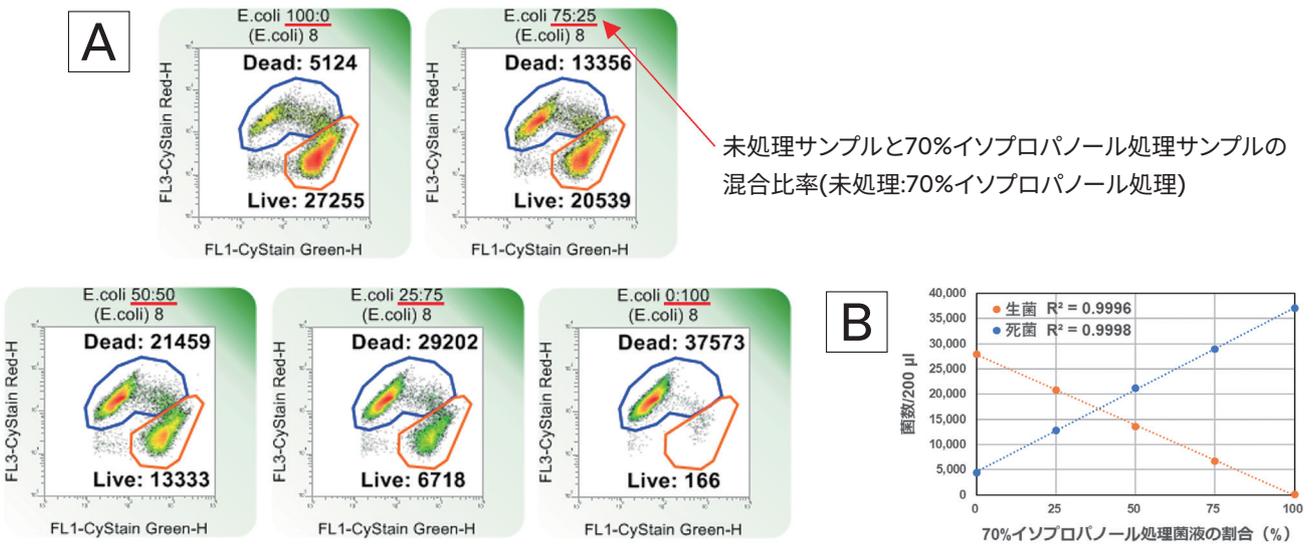


図2. CyStain BacCount ViableとCyFlow Cube 6を用いた細菌数測定と線形回帰分析

- (A) 未処理と70%イソプロパノールで30分間処理した大腸菌(*Escherichia coli*)を様々な比率で混合した細菌懸濁液をCyStain BacCount Viableで染色し、CyFlow Cube 6の絶対数カウント機能(TVAC)を用いて測定しました。
- (B) 3回の測定結果の生菌数と死菌数の平均値をプロットし、線形回帰分析を行いました。その結果、生菌( $R^2=0.9996$ )、死菌( $R^2=0.9998$ )ともに精度の高い回帰直線が得られました。

※ 本試薬は研究用であり、診断に用いることはできません。  
 ※ 本内容は予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

製造販売元  
**シスメックス株式会社**  
 本 社 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-1 〒651-0073

お問合せ先  
 日本・東アジア地域本部 R&I営業推進部  
 神 戸 神戸市西区室谷 1-3-2 〒651-2241  
 東 京 東京都品川区大崎 1-2-2 〒141-0032



お問合せはこちら